※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学Ａ演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新課程　ベーシックスタイル　数学演習Ⅰ・Ａ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

・基本事項の理解の徹底と問題解決能力をつける
・総合的な問題の解法力をつける
・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとする創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本事項の理解の徹底と問題解決能力をつける	総合的な問題の解法力をつける 事象を数学的に考察し処理させ、それらを活用させる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	数学Ａの標準問題の演習	場合の数と確率(順列･組合せ・確率) 図形の性質（円・四角形・三角形） 数学と人間の活動（最大公約数・最小公倍数）	a: 順列，円順列，重複順列の公式を理解し，利用することができる。 組合せの総数を記号で表し，それを活用できる。また，組合せの公式を理解し，利用することができる。 確率の基本性質を理解し，和事象，余事象の確率の求め方がわかる。 三角形の外心，内心，重心の定義，性質を理解している。 円に内接する四角形の性質を利用して，角度を求めることができる。 円の接線と弦の作る角の性質を利用して，角度を求めることができる。 素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 b: 場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 既知である順列の総数をもとにして，組合せの総数を考察することができる。 不確定な事象を，同様に確からしいという概念をもとに，数量的に捉えることができる。 円に内接する四角形の性質について，論理的に考察することができる。	定期考査	定期考査	確認テスト 提出ノート 振返りシート

※令和４年度以降入学生用

			身近な事象について数学的に捉え，最大公約数・最小公倍数との関係について考察することができる。			
２学期・３学期	数学Ａの応用問題の演習	場合の数と確率（いろいろな確率） 空間図形 整数の性質（ユークリッドの互除法、n 進法）	a: 独立な試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 反復試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 期待値の定義を理解し，期待値を求めることができる。 正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数，体積を求めることができる。 互除法の原理を理解し，互除法を用いて 2 数の最大公約数を求めることができる。 n 進法の整数を 10 進法で，10 進法の整数を n 進法で表すことができる。 b: 既習の確率の知識を利用して，反復試行の確率について考察することができる。 既習の確率と条件付き確率の違いについて，図や表などを用いて考察することができる。 結果が不確実な状況下において，どの選択が有利かを判断する基準として，期待値の考えを用いて考察することができる。 空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察	定期考査 (3 学期)確認テスト	定期考査 (3 学期)確認テスト	確認テスト 提出ノート 振返りシート (3 学期)提出ノート 振返りシート

※令和４年度以降入学生用

			することができる。 天秤ばかりのつり合いや油分け算などの日常的な問題について,1次不定方程式と関連付けて考察することができる。 c: 具体的事象について，反復試行の確率を，興味をもって調べようとする。 条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち，積極的に活用しようとする。 日常の事象における不確実な事柄について判断する際に，期待値を用いて比較し，考察しようとする。 互除法を利用するなどして，$ax+by=c$ を満たす整数 x，y の組を求める方法に興味・関心をもつ。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度